

資金管理料金収支の見通し

1. 前提条件

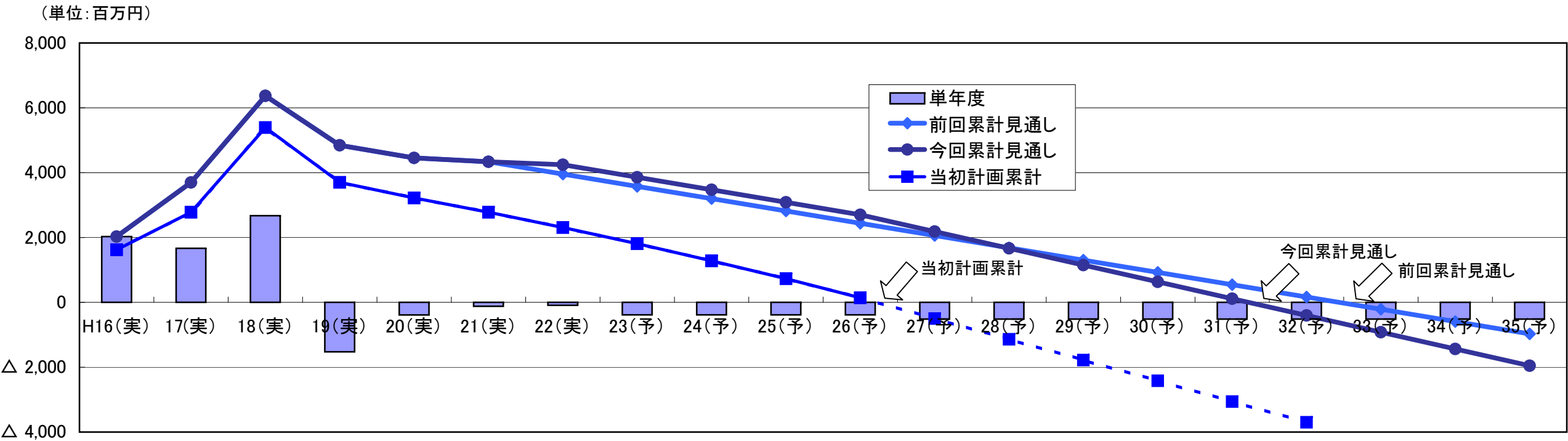
項目	前回(平成22年9月開催 第38回資金管理業務諮問委員会)	今回
①自動車製造業者、日本自動車輸入組合及びユーザーとの負担割合	従来どおり	従来どおり
②物価変動率	考慮しない	考慮しない
③消費税率	5%	平成27年度より10%
④実績及び予算	平成21年度までは実績、 平成22年度は予算を使用	平成22年度までは実績、 平成23年度は予算を使用
⑤計画	平成23年度以降は平成22年度予算を使用	平成24年度以降は平成23年度予算を使用
⑥預託台数	平成23年度以降は平成22年度予算の 新車時預託480万台、引取時預託33万台	平成24年度以降は平成23年度予算の 新車時預託446万台、引取時預託24万台
⑦イベント等	考慮しない	考慮しない

2. 収支差額の見通し

前回(平成22年9月開催 第38回資金管理業務諮問委員会)見通しと比較して、収支均衡時期が平成33年度から平成32年度へ1年間前倒しとなる見通しである。

(単位:百万円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目
年 度	H16(実)	17(実)	18(実)	19(実)	20(実)	21(実)	22(実)	23(予)	24(予)	25(予)	26(予)	27(予)	28(予)	29(予)	30(予)	31(予)	32(予)	33(予)	34(予)	35(予)
収 入	10,609	20,101	15,010	6,239	3,511	3,352	3,152	3,841	3,841	3,841	3,841	3,891	3,891	3,891	3,891	3,891	3,891	3,891	3,891	3,891
支 出	8,580	18,432	12,337	7,765	3,900	3,473	3,243	4,227	4,227	4,227	4,227	4,408	4,408	4,408	4,408	4,408	4,408	4,408	4,408	4,408
収支差額(単年度)	2,029	1,668	2,673	△ 1,525	△ 389	△ 121	△ 91	△ 386	△ 386	△ 386	△ 386	△ 517	△ 517	△ 517	△ 517	△ 517	△ 517	△ 517	△ 517	△ 517
収支差額(累計見通し)	2,029	3,697	6,370	4,845	4,456	4,335	4,244	3,858	3,472	3,086	2,700	2,183	1,666	1,149	632	115	△ 402	△ 919	△ 1,436	△ 1,953



3. 収支の見通し

当初計画(平成16年7月 資金管理料金認可時)の預託台数及び費用構造に変化があるとともに、継続的な効率化の取組みもあり、収支均衡時期が平成27年度から平成32年度へ延伸する見通しである。

現時点で予測できないイベント的支出があり得ることから、収支の状況を今後とも注視していくものとする。